



第62回

経験をしましたが、強く想いが残っているのは戦時下の米軍に留学した際の経験です。今日がほぼ自分の限界、このままでは明日ドロップアウトするかもしれない、明日生き残るにはどうすればいいか、不安を押し殺し打開策を考えイメージトレーニングを繰り返して眠りにつき、翌日実際に体と頭をフル稼働させ

これほどまでの訓練を乗り越えた者にしか困難な任務に従事することができず、生還できないこともあるという厳しい現実を思い知らされましたが、同時に厳しい状況に身を置き自分を磨くことで自分の中にあるものを掘り起こし延ばすことで進化し、周囲に貢献できるという充実感を味わうことができました。

ス、蕎麦打ち、寿司、レザークラフト、ペン（万年筆・ボールペン）ターニング、詩絵その他、65歳以降をどう生きるかが多種多様な趣味にチャレンジしました。

短期間で何かを身につけるイメージのようなものに化し自己のポテンシャルは低下も魅力を感じましたが、時の過ぎるのも忘れ没頭できるものと投資して時間をかけて努力を積み上げて進化したポテンシャルを増大させることで長寿時代を充実させたいと思うようになりました。

トさせることを決意し久保師匠のもとに半ば押し掛ける形で弟子入りして万年筆職人として修業を開始しました。

第2の人生 会社顧問として会社に甘えず依存せずと自分に言い聞かせ、現場を重視し社員とともに汗を流し苦しみを考え半ば行動して知見を蓄積することでポテンシャルを上げて社に貢献しようと日々努力しています。会社の状況を踏まえ、万年筆職人とのバランスをうまく取りつつ、出勤し働いた分の対価を給料としていただいています。異なる職業に同時に従事するとそれぞれに新鮮さを感じ相乗効果があるようです。20式新小銃の量産が始まりモノづくりという点では共通しており、大変さを感じずをしみじみと味わっています。

「人生の醍醐味とは、長寿時代をどう生きるか」



万年筆工房FURUTA (個人事業主) 古田 清悟

古田 清悟

人自身が向いていて、趣味の延長で万年筆の作成後には力を養う絶好の機会にのめり込み、現役時はいろいろと制約がありましたが、その後の人生では制約もほぼなくなりやろうと思えば自分のやりたいことをすることができると、また、体力・

「筆者紹介」

せて試行錯誤しつつ改善を図るという日々を送りました。テロとの戦いに勝利し戦死戦傷者を局限するための厳しい訓練に脱落者が続出するなか、何とか最後までやり遂げることができましたが、帰国後しばらくして留学生をむちチームメイトの数が戦死したとの連絡を受けました。

この頃から今後の人生をどう生きるべきかよく考えるようになりました。

何をしたいのか
↓趣味で自分観察
何をしたいのか自分と向き合
い、感性が何に反応するのか自分を観察するため、職務の延長としてマラソン（フル・ウルトラ）、トレイルラン、トライアスロン、スクーバダイビング、スカイダイビング、各種格闘技、純粋な趣味として三線、サック

平均寿命、健康寿命の延び
↓長寿時代をどう生きるか
長寿時代において自衛官が健康であれば退官後の人生はか

自衛隊での経験
自分（知識、技能）を鍛えて組織に貢献したいという気持ちを持って勤務しさまざまな

退官後どう生きるか、退官直後には力を養う絶好の機会にのめり込み、現役時はいろいろと制約がありましたが、その後の人生では制約もほぼなくなりやろうと思えば自分のやりたいことをすることができると、また、体力・

古田 清悟
防大29期
元富士教導団長（元陸将補）

自衛隊での経験
自分（知識、技能）を鍛えて組織に貢献したいという気持ちを持って勤務しさまざまな

退官後どう生きるか、退官直後には力を養う絶好の機会にのめり込み、現役時はいろいろと制約がありましたが、その後の人生では制約もほぼなくなりやろうと思えば自分のやりたいことをすることができると、また、体力・

古田 清悟
防大29期
元富士教導団長（元陸将補）